

## 次号予告

### 特集 論文・事例研究 論文・研究レポート

生産輸送計画モデルとその感度分析情報の戦略的利用

.....相沢健実, 河野高洋 (秩父小野田), 森 雅夫 (東京工業大学)

配送計画支援システムMETROとその事例.....久保幹雄 (東京商船大学), 毛利裕昭 (三菱総合研究所)

### 教養講座

多様化時代の数理計画法(2)目標ベクトル法, 多目的線形計画法, フレキシブル計画法

.....山口俊和 (東京理科大学)

OR思想(1) .....近藤次郎 (地球環境産業技術研究機構副理事長兼研究所長)

**編集後記**●10数年振りの小樽での研究発表会はいへん印象深いものでした。若林先生をはじめとする北海道支部の方々の暖かいおもてなしにも感激いたしました。懇親会ウォッチャーによれば、懇親会で食べるものが無くならなかったのは近來まれ、ということでした●それにしても寒かったですね。摂氏5度ですからね。駅のホームの脇とか、シンポジウムの会場前の中庭などにまだかなりの雪の山があったのには驚きました。今年の冬の降雪は大変なものだったようです。あのトンネルの落石事故も無関係ではないのでしょうか●雪国ではどこでも除雪作業にかなりのエネルギーを費やしているようです。北海道の除雪のための支出は約100億円、というはなしを小樽で乗ったタクシードライバーから聞きました。除雪の基本は雪があると困るところから困らないところへ移動する、ということです。溶ければ水になって流れてしまうものを動かすために毎年100億円のお金が流されてしまうのももったいな

い話です●毎年そんなに費用が掛かるのであれば、そのお金をハイテクに設備投資して、山の頂上で巨大なプロペラを回して都市部に雪が降らないようにするとか、海水を暖めて道路に流し雪を溶かしてしまうとか、道路の脇にベルトコンベヤーのようなものをつけて大量に積もる前に海まで運んでしまうとか、いろいろなアイデアが出てきそうな気がします●でもこのようなプランは受け入れられないのだそうですね。作業員とかダンプカーだとか除雪のために必要な資源を提供する業者は、あらかじめそのような作業が冬場にあるということを見込んだうえで長期計画、年間計画を立てているので、冬場の仕事がなくなると、失業とか資材のローンの返済ができないとか、色々な問題がでてくるからだそうです●最適化を考えるうえで、実施上の制約条件を十分に考慮したうえで計画を立てないと、実行不可能な解を導きかねない、ということ改めて考えさせられました。(逆瀬川浩孝)

## オペレーションズ・リサーチ 編集委員会

**委員長** 逆瀬川浩孝(早稲田大学) **副委員長** 山上伸(東京ガス株), 山下勝比拉(株東芝), 大山達雄(埼玉大学)  
**委員** 伊藤裕康(株富士通研究所), 上田徹(成蹊大学), 葛山康典(早稲田大学), 國澤直樹(東京電力株), 栗田治(慶応義塾大学), 佐賀井重雄(助電力中央研究所), 外嶋成留(住友金属工業株), 田口東(中央大学), 田中宏和(さくら総合研究所), 中里宗敬(青山学院大学), 西尾チヅル(筑波大学), 服部正太(株構造計画研究所), 水野眞治(統計数理研究所), 矢島安敏(東京工業大学), 山下英明(駒澤大学)

本誌に掲載された記事についての著作権は、社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会に帰属する。

# オペレーションズ・リサーチ

平成8年7月号 第41巻 第7号 通巻427号

代表者 刀根 薫

発行所 社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会  
東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル  
電話 03-3815-3351(代) FAX 03-3815-3352 〒113

編集人 逆瀬川 浩孝

発売所 株式会社 日科技連出版社

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-4-2 〒151

### ●本誌のご注文は直接

日本オペレーションズ・リサーチ学会へ 定価 950円(本体922円, 郵送料含) 年間予約購読料10,800円(税・郵送料含)

●本誌への広告お申し込みは明報社(3546-1337), 日経弘報社(3563-2241)へ